

プレスリリース

平成23年12月12日
社団法人 中央畜産会

JSSC/JLIA 低層特定畜舎等建築物システムの国土交通大臣の認定取得について (一方向ラーメン・他方向ブレース構造、平家建て)

畜舎の建築は、長期間にわたり大きな負担を畜産経営に及ぼすことから、より低コスト化を図ることが、我が国の畜産経営の持続性において重要な課題となっています。

今般、大臣認定を受けた”JSSC/JLIA 低層特定畜舎等建築物システム”は、現在、畜舎等の柱、はりに使用することが困難である、軽量H形鋼や板厚の薄い圧延H形鋼（以下「薄い鋼材」という。）の利用に対応するために構築したシステムです。

本システムは、全国的に多くみられる鉄骨造の畜舎等を対象としており、この度、建築基準法に基づき、社団法人日本鋼構造協会(JSSC)と社団法人中央畜産会(JLIA)が共同で申請し、平成23年12月2日付けで国土交通大臣の図書省略に係る認定を取得したものです。

このシステムを用いると、薄い鋼材についても、柱や大ばりへの使用が可能となります。

また、接合部の破断や局部座屈の確認についても簡略化されます

さらに、薄い鋼材を使った際の構造計算適合性判定も不要となることから、鋼材数量の低減や建築確認業務の簡略化が図られ、ひいては建築コストの低減が期待できます。

なお、本システムの概要等については、別添資料ならび中央畜産会の畜舎のホームページ (<http://build.lin.gr.jp>) をご覧下さい。

<問い合わせ先>

(社)中央畜産会 事業第一統括部
(支援・調査研究) 工藤憲一郎
T E L : 03-6206-0843
F A X : 03-5289-0890